**平成29年度　社会福祉法人　みなみ**

**江戸川ケアセンター　短期入所生活介護事業計画**

**＜事業目的＞**

ご利用者様が、できる限り在宅において自立した日常生活を営むことができるよう、一時的に施設に入所して頂き、ご家族、他事業所や医療機関との連携を図り、ご利用者様の心身機能の維持・向上に努め、同時に、ご家族の身体的、精神的負担やご家族自身の時間を作って頂き、在宅生活の継続が出来るように支援していきます。

**＜事業方針＞**

現在、ショートステイに対してのニーズが多様化の一途たどり、様々な利用者様がご利用して頂いております。また、地域包括がある特別養護老人ホーム併設のショートステイとの差別化を図るため、みなみの理念である「真心のふれあいと、おもいやりの援助実践」に基づいた事業運営を目指します。

ショートステイサービスを取り巻く環境は、ニーズの多様化や高齢化社会の加速による老々介護、独居生活の増加、等様々なニーズに応えることが求められます。ご利用者様本人や、在宅介護されるご家族のニーズに応えるために、以下３つの重点目標を掲げます。

**１．法人理念の表現化**

**２．情報共有とチームケアの強化**

**３．業務効率向上と上手な時間の使い方**

**１．法人理念の表現化**

法人理念である「真心のふれあいと、おもいやりの援助実践」を、ご利用者やご家族が感じる事が出来るよう、以下の項目を実施していきます。

**○レクリエーション活動の充実**

今年度より、レクリエーションは３本の柱で構築し実施し利用者様、ご家族の満足度向上、

地域に残るショートステイの確立を目指します。

**１．イベントレクリエーション**

イベントレクリエーションごとにご利用者様に「季節」を直接感じて頂き、特別な思い出を

作って頂き、他のショートステイとの差別化を図るとともにご家族様に行った様子を報告し、

地域から選ばれるショートステイを目指します

＜年間イベント予定表＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 4月 | お花見　地域散策 | 10月 |  |
| 5月 | ふれあい祭り参加 | 11月 | 紅葉見学 |
| ６月 | おやつ作り（パンケーキ） | 12月 | クリスマス会 |
| 7月 | 流しそうめん | 1月 | 新年祝賀会 |
| 8月 | かき氷つくり | 2月 | 節分イベント |
| ９月 | 敬老会参加 | ３月 | ひな祭り |

　※利用者状況や職員体制の変動により、内容変更するものとする。

**２・体操レクの充実**

「やって楽しい体操」を理念に、ご利用者様のご健康とＡＤＬの維持・向上、自立支援、またご家族様の在宅介護の負担軽減のために体操レクの充実をはかり、ショートステイの一つの特色として実施していき利用者様にメリハリのある入居生活を送って頂けるよう実施していきます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 内容 | 効果 |
|  | 生活リハ（下肢強化・ストレッチ） | 下肢筋力維持、血行促進、転倒防止 |
|  | デュアルタスク | 認知機能の維持・向上　脳機能の活性化 |
|  | お手玉体操 | 手指運動　感覚領域の活性化 |
|  | ボクササイズ | 上肢の筋力維持、関節可動域の拡大 |
|  | 歩行練習 | バランス力の向上、下肢筋力の向上、認知機能低下予防 |

※半年に一度レクメニューの見直しをかけ、精査しメニューの適正化を図る。

**３・物作りレク**

**多様化するニーズの中で余暇時間に創作物を作り、認知機能の維持・向上をはかり、**

**目標と目的意識を利用者様にもって頂き、ショートステイの中に楽しみをみつけて頂くと同時にご家族様へ創作物をフィードバックしショートステイでの利用状況を確認して頂き、**

**ご本人の認知機能を再確認して頂くために実施する。**

**２．情報共有とチームケア強化**

顧客満足向上のためには、誇りと自信を持って、活き活きと働く職員の存在が不可欠であり、ショートステイはチームケアで成り立っています。そのため、職員間、及び他事業所との情報共有が要となります。正しい情報で利用者様に安全で、安心な援助を行うために以下３つの取り組みにより、職員のモチベーションを上げ、顧客満足向上の為に協働できる環境づくりを目指します。

**○倫理を土台にした人材育成**

　「みなみの介護は優しい」「よくしてくれる」というご利用者やケアマネジャーなど第三者の声に「みなみの強み」があります。この「強み」を明確にし、当法人の倫理規定を基に自身の業務を見直す研修、スキル向上の為の研修、法令で定められている研修を実施します。これにより、みなみの理念である「真心のふれあいと、おもいやりの援助」を実践する、明確な行動基準を有した職員育成を目指します。

**○専門的知識の習得**

**介護職としての専門的な知識とスキルを習得し現場の対応力の底上げを図り、多様化するニーズに応え、利用者様の安心感の獲得ともに、職員のスキルアップと自信につながり、現場の活性化を図ります。**

**研修内容**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **4月** | **認知症について　ＫＹＴ研修** | **12月** | **感染症・食中毒** |
| **６月** | **疾病について** | **２月** | **身体拘束・権利擁護** |
| **８月** | **虐待事例** | **3月** | **疾病について②** |
| **10月** | **倫理・法令・介護保険の理解** |  |  |

**○メンタルケアと風通しの良い関係作り**

　管理者、相談員、介護リーダーが中心となり、各人の仕事や個人的な悩み、近況等を聴く機会を作ることで、職員の不要なストレスの軽減や改善を図ります。また、仕事上の課題に対するＯＪＴに活かすと共に、不適切ケアの芽を摘む効果も期待できます。

　風通しの良い関係作りをするには、コミュニケーションが円滑に行えるかが非常に重要になってきます

**３．業務効率向上と上手な時間の使い方**

ご利用者に直接提供する介護等の充実の為に、その他の業務領域において積極的な効率化を図り、人員の増減に関わらず安定したサービスの量と質を維持出来るよう努めます。

また、時間の使い方を見直し、お互いが協力する事の理解を深め、各々が自由に動く事の出来る時間を作り出すことで、非定型業務などに要する残業時間を短縮し、職員のワークライフバランスの改善を図ります。

**○記録業務の改善**

現在の記録フォームの項目とレイアウトを、見やすさ、分かりやすさ、書きやすさ、のポイントで見直します。これにより内容を削る事なく、記録業務の能率向上を目指します。

併せて、各自の記録内容の見直し、指導をリーダーが随時行い、より的確な記録作成に取り組みます。

**○働きやすい環境整備**

共用のカレンダーを設置し、イベントや会議、各書類提出期限などの日時と担当の見える化を図り、月をまたぐ業務でもスムーズに行える環境を整えます。また、見える化をすることで、互いの状況が分かり、声をかけ協力しやすくなります**。**

ステーション内のオフィス家具や備品、戸棚内等のレイアウトが各階で異なっている為、これを統一、維持することで、日々の作業能率を高めます。